



アウトドア体験を行いました。

「美味しかった、おなかいっぱい。」と子ども大人を問わず苦しそうな声が聞こえました。コロナ禍により屋外での活動が注目を集め、キャンプなどのアウトドアが人気になっています。そこで、スマサポもアウトドア体験を行いました。当日は県民の日ということもあり、山梨県の郷土料理を作ろうとほうとうを作ることにしました。子どもたちは慣れない包丁を使いながら様々な野菜を手分けして切り、人によってサイズはバラバラですが、無事に美味しいほうとうが出来上がりました。普段料理をしないことを後悔しながら、料理の段取りに苦勞していたスマサポ職員も大学生ボランティアの力を借りながら子どもたちと一緒に料理を作りました。たき火で作った料理は雰囲気も良く、自宅で食べる味よりも一段と美味しく感じました。また、ほうとう以外にも自分が好きな具材を乗せてピザを作ったり、南アルプス市の猟師さんからいただいたジビエでバーベキューをしたり、体験活動で収穫したさつまいもを使ったスイートポテトや野菜を細かく切ったコールスローサラダを作り自然の中でいただきました。

食欲の秋！！青い空と綺麗に紅葉した木々の下で季節を感じながら料理を作りました。



スマサポ職員から

「おはようございます」

通勤のため、駅に向かって歩いていると遠方に制服姿の女の子が見え、ドキドキします。彼女との距離が縮まるとその鼓動はマックスを迎え、「よし」と彼女より先にあいさつをしようと思った瞬間に笑顔で「おはようございます」と言われてしまい毎回落ち込みます。

私には、自宅からだいぶ離れた場所に田畑があり、作業をしていると何人かの知らない大人たちが通り過ぎていくことがあります。私は、目が合うと「こんにちは」と声をかけるのですが、返答してくれない方もいて、何かさみしさを感じます。

近年、無差別に人を傷つける事件があり、「知らない人」に対して警戒心を抱かなければならない場面が多くなり、学校でも「いかのおすし」などの標語を活用して子どもたちに自己防衛の大切さを学ばせています。そのため、人と人とのコミュニケーションづくりが難しくなるなど課題も多い環境になってきています。

このような社会ですが、「あいさつ」が気軽にできる環境づくりを進めていくことが必要であると考えています。私一人では何もできませんが大人として「明日こそは、彼女よりも先にあいさつをしよう」という強い心構えを持って歩こうと思います。

支援を必要としているお子さんはいませんか？

スマサポは非行や家庭内暴力、SNS・ゲーム依存、不登校など様々な問題を抱え、今の状況を何とかしたいと悩んでいるお子さんに体験活動・学習支援・就労支援・家庭支援の4本柱で立ち直り支援を行っています。

山梨県 スマサポ



山梨県少年サポートネット推進協議会
愛称：スマイルサポートプロジェクト(スマサポ)

《事務局》
山梨県教育委員会 生涯学習課
青少年保護育成担当
TEL 055-223-1357